

これからの教育を考える

—新学習指導要領とプログラミング教育—



国立大学法人

鳴門教育大学



今、「プログラミング教育」が注目を集めていきます。新たな教育課題として、2020年度から全面実施される小学校学習指導要領改訂では、**プログラミング**教育が**必修化**されます。教育産業では、いち早くこれを取り入れようと動いていますが、学校現場では、何をどう教えたらいいのか分からず、不安があるという声が聞えてきます。

プログラミング教育というと、難しい英数字の命令文を打ち込みながら、コンピュータを動かす教育が全てだと思われがちですが、それ以上に「プログラミング的思考」を育てることが大切です。自分がしたいと思う活動を実現するために、どのような動きが必要で、どのように組み合わせたらいいのかを論理的に考えていく力であり、これまでの学校の授業でも培ってきたものと同じものです。ただ、ここでは最終的にコンピュータにつながるという点がポイントなのです。

プログラミング教育は、論理的
思考力や創造性、問題解決能
力といった資質・能力を育むとい
う側面と、コンピュータを動かす
ために必要なコーディング(プロ
gramming言語を用いた記述方
法)を学ぶという両側面がありま
す。